

Excel解説7.2

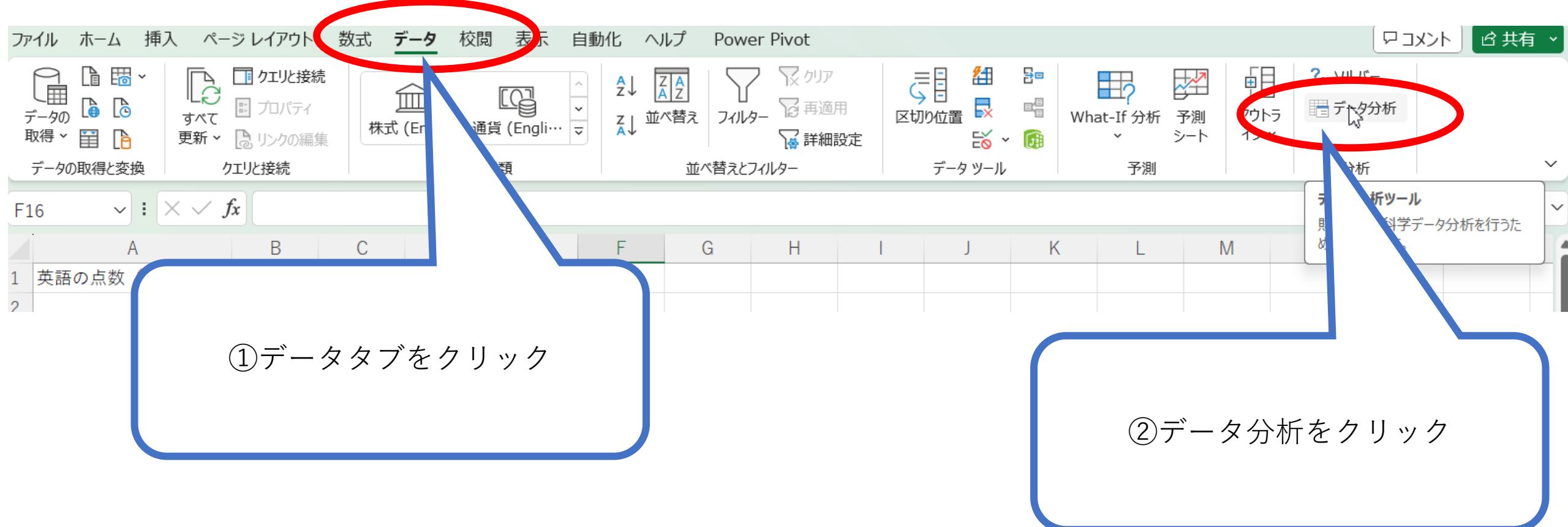
大標本の平均の検定

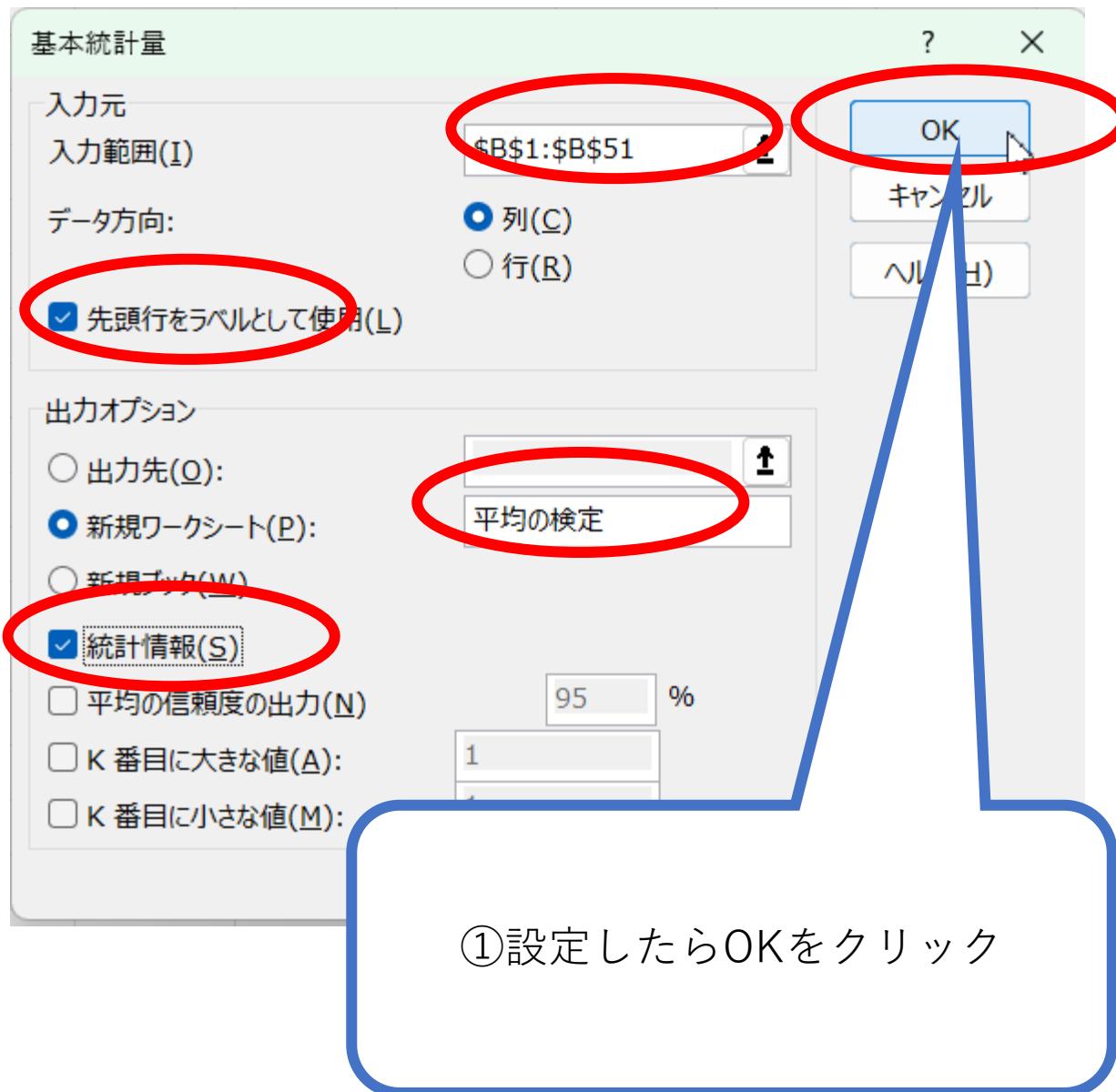
データファイル 英語の点数50

ファイルを開く

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	英語の点数 (入学時)	英語の点数 (1年時)						
2		26	39					
3		19	26					
4		28	42					
5		44	42					
6		22	32					
7		30	46					
8		20	36					
9		40	48					
10		35	49					
11		21	28					
12		30	42					
13		48	47					
14		37	44					
15		37	40					
16		30	32					
17		34	45					
18		15	27					
19		24	42					
20		37	42					
21		29	41					
22		44	51					

「Excel解説2.1平均・分散・標準偏差」と同様に、以下の設定で分析ツールの基本統計量を算出





英語の点数 (1年時)

A	B	C	D	E
1	英語の点数 (1年時)			
2				
3	平均	41		
4	標準誤差	1.08006		
5	中央値 (M)	42		
6	最頻値 (F)	42		
7	標準偏差	7.637181		
8	分散	58.32653		
9	尖度	-0.20554		
10	歪度	-0.32099		
11	範囲	34		
12	最小	1		
13	最大	58		
14	合計	2050		
15	データの個数	50		
16				
17				
18				

②確認

10	歪度	-0.32099
11	範囲	34
12	最小	24
13	最大	58
14	合計	2050
15	データの個数	50
16		
17	1変量の仮説検定	
18	H0:=	35
19		
20	t 値	
21	有意水準	
22	棄却域の臨界値(t分布)	
23	正規分布の臨界値	

② (平均 - 帰無仮説の値) ÷ 標準誤差
を計算

① キーボードから入力

A	B	C
1	英語の点数 (1年時)	
2		
3	平均	41
4	標準誤差	1.08006
5	中央値 (メジアン)	42
6	最頻値 (モード)	42
7		7.637181
8		58.32653
9		-0.20554
10		0.32099
11	軸	34
12	最小	24
13	最大	58
14	合計	2050
15	データの個数	50
16		
17	1変量の仮説検定	
18	H0:=	35
19		
20	t 値	$=(B3-B18)/B4$

14	合計	2050
15	データの個数	50
16		
17	1変量の仮説検定	
18	$H_0 :=$	35
19		
20	t 値	5.555
21	有意水準	0.05
22	棄却域の臨界値(t分布)	
23	正規分布の臨界値	

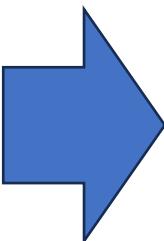
①問題に書かれている
確率を入力

12	最小	24
13	最大	58
14	合計	2050
15	データの個数	50
16		
17	1変量の仮説検定	
18	$H_0 :=$	35
19		
20	t 値	5.555
21	有意水準	0.05
22	棄却域の臨界値(t分布)	=T.INV.2T(B21,\$B\$15-1)
23	正規分布の臨界値	
24		

②= T.INV.2T(確率,自由
度)
を入力

16		
17	1変量の仮説検定	
18	H0:=	35
19		
20	t 値	5.555
21	有意水準	0.05
22	棄却域の臨界値(t分布)	2.009575
23	正規分布の臨界値	=NORM.INV(1-B21/2,0,1)

=NORM.INV(確率,平均ゼ
ロ, 標準偏差1)
を入力



A	B	C
1	英語の点数 (1年時)	
2		
3	平均	41
4	標準誤差	1.08006
5	中央値 (メジアン)	42
6	最頻値 (モード)	42
7	標準偏差	7.637181
8	分散	58.32653
9	尖度	-0.20554
10	歪度	-0.32099
11	範囲	34
12	最小	24
13	最大	58
14	合計	2050
15	データの個数	50
16		
17	1変量の仮説検定	
18	H0:=	35
19		
20	t 値	5.555
21	有意水準	0.05
22	棄却域の臨界値(t分布)	2.009575
23	正規分布の臨界値	1.959964